

事故その他の事象(鉱害含む。)の措置情報

番号	災害等発生鉱山管轄産業保安監督部名	都県名	発生年月日時間	鉱種	鉱山労働者数 A:9人以下 B:10～49人 C:50～99人 D:100人以上	事故その他の事象の種類	原因となった装置・施設等	ハザード(危険の内容)	事故その他の事象の種類	リスクマネジメント実施状況 (発生前)	原因	対策	詳細情報1
1	関東	東京	H19.4.23 3:00頃	石灰石	D	坑廃水	選鉱場 廃水処理施設 (場外排水口)	汚濁水の管理	選鉱場廃水処理シクナーに処理能力を超える廃水が流入、処理系統内で循環させているポンプの能力を超過したため、未処理の汚濁水が循環せず、循環水槽からオーバーフローし河川に流入した。	今回のような事故を想定した、事前のリスクマネジメントは実施していない。	・選鉱場を停止した時点でシクナー泥面レベルが高く、シクナーの処理能力が低下した状態であったが、土、日曜日にフィルタープレスによる泥抜き作業を実施していなかった。 ・連続操業していた設備の機械冷却水等を廃水処理系統に流したため、循環ポンプの能力を超えてしまった。 以上の原因により、シクナーで処理しきれなかった廃水が処理系統内に循環せず河川に流出したものである。 また、事故後直ちに、循環系への清水供給停止措置をとらなかった。 余剰清水の循環系外への排出という対応を取らなかった。 ため、汚濁水の流出が長時間にわたってしまった。	現況調査等の結果を踏まえ、次の対策を実施。 応急対策として ・20㎡水槽オーバーフロー水の系内循環 ・清水タンクの取水管理 ・フィルタープレスの運転 恒久対策として ・排水管理、緊急時対応マニュアルの作成、周知、教育 ・清水タンクの余剰水制御、用水系統見直し ・排水監視設備設置 ・工程内保有水量の低減 ・20㎡水槽にポンプ増設し工程ラインに送水 ・冷却工程水等非汚濁廃水を直接排水 ・予備シクナーを緊急時貯水用として整備 ・脱水ケーキ廃棄の新規受入先、ケーキストック場確保	-
2	関東	新潟	H19.7.16 10:13	石油天然ガス	D	風雪水害	パイプライン	パイプの破損	平成19年中越沖地震により送油パイプラインが破断し、噴出した原油が水田・農道に飛散し、用水路、道路側溝を経由して河川に流	パイプラインからの油漏洩による周辺汚染時における緊急対応など事前に実施している。	地震による想定外の応力がパイプに掛かったため	破損箇所を取り替えるなど現状復旧を行った	-
3	関東	新潟	H19.7.16 10:13	石油天然ガス	B	風雪水害	パイプライン	パイプの破損	平成19年中越沖地震により送油パイプラインが5箇所、送ガスパイプラインが5箇所破断し、噴出した原油が道路・水田等に流出し、用水路道路側溝等を経由して河川に流出した。	パイプラインからの油漏洩による周辺汚染時における緊急対応など事前に実施している。	地震による想定外の応力がパイプに掛かったため	破損箇所を取り替えるなど現状復旧を行った	-
4	関東	新潟	H19.7.26 14:25頃	石油天然ガス	B	風雪水害	パイプライン	パイプの破損	平成19年中越沖地震により自噴線が破断し、原油混じりの坑水が水田に流出した。	パイプラインからの油漏洩による周辺汚染時における緊急対応など事前に実施している。	地震による想定外の応力がパイプに掛かったため	破損箇所を取り替えるなど現状復旧を行った	-
5	関東	埼玉	H19.9.7 12:00頃	銅、鉛、亜鉛	A	坑廃水(風雪水害)	坑内導水路	汚濁水の管理	台風9号の影響による豪雨のため、排水ポンプの能力を超える坑内湧水(水質には問題なく処理の必要のないもの)が発生し、汚濁水の導水路に流入したことにより汚濁水量が増加したため、坑水処理設備の処理能力を超えた分が未処理のまま河川に流出した。	坑水処理設備の能力を超えるほどの流入は想定していなかった。	・観測史上最大の連続降雨量のため、想定外の坑内湧水があった。 ・排水処理の必要のない坑内湧水量が排水ポンプの処理量を大幅に超過した。 ・排水処理が必要な坑内水が閉塞により導水されており、排水ポンプの能力を超えた湧水が流れ込む構造になっていた。	異常出水時に汚濁水処理を一時的に休止できるように探掘跡を利用した貯水施設を整備する。 非常時に排水処理が必要な坑内水をパイプ流送に切り替えられるようにし、水質の問題がない湧水の流入を防止する。(工事未実施)	-
6	関東	東京	H19.9.8 13:00頃	石灰石	D	風雪水害	表土集積場	集積物の流出	台風9号に伴う集中豪雨により2箇所の集積場(表土)に大規模な雨裂が発生し、集積物が流出した	今回のような事故を想定した、事前のリスクマネジメントは実施していない。	A集積場: 豪雨による地山の落石のため山腹水路が閉塞し、水路から溢れた雨水が集積場内に流入し法面を洗掘した。 B集積場: 豪雨のため沢上流部の重機道の盛土が決壊し、降雨水がたい積場に入流し洗掘した。	A集積場: 底設暗渠排水口、山腹水路の堆積土砂の除去 集積場場内排水路の復旧 洗掘法面の再整形 山腹水路の点検路の整備 山腹水路閉塞防止対策の実施 B集積場: 集積場内への雨水、土砂の流入防止対策の実施 洗掘部の再整形、再転圧の実施 かん止堤上部のたい積土砂を除去し、洗掘部に戻す。 再整形した法面の緑化	-